

延岡市男女共同参画情報誌

第35号

響

— HIBIKI —

CONTENTS

響インタビュー	2～3
天下一光つちよる人	4～5
DVに悩んでいませんか	6
のべおか男女共同参画会議21・ 稲垣えみ子さん講演会	7
読んでみませんか?・響さん紹介	8

延岡名花ヤブツバキ

延岡男星インタビュー

HIBIKI interview

のべおか だんせい ほいくしだん
男星保育士団



延岡での子育てを応援すべく立ち上がった男星保育士団。パパもママも子どもと楽しくふれあい遊べる場を提供し、いろいろな活動を通して家庭でも遊べるようなものを考えているという現団長の川野幸伸さんと前団長の藤原尚史さんにお話を伺いました。



川野幸伸さん

永井勇氣さん

藤原尚史さん

工藤鉄兵さん

須藤大成さん

男星保育士団のプロフィールと発団のきっかけを教えてください。

〔川野さん〕 延岡の子育て支援をしたくてやってまして。僕らのイベントは papaパークってついているから、パパしか行っちゃいけないのかって言われたので、お母さんも参加OKと。でも、お父さんが参加してくれると、お母さんの負担が減ったりするからいいよなと思いつつ、お父さんの育児参加を促進したいっていうのと僕らの自己研鑽。

メンバーはほぼ保育士で、今、一般企業に勤めている元保育士もいます。実働で14名ですね。

〔藤原さん〕 発足は2013年ですね。平成25年。

現在の活動状況は？

〔川野さん〕 年間で自主開催のイベントが3回。デイキャンプをしたり劇仕立てのファミリーコンサート、一緒に参加型のファミリーコンサートとかがイベントの柱になっています。それを軸に、イベント依頼いただいたのにどんどん出ていくって感じで、年間20回ぐらいは動いているのかな。

〔藤原さん〕 そうですね、全部入ってますね。他の地域とかいろいろ。えんキッズさんには前年度ほぼ毎月行きました。出張ミニpapaパークって感じで30分から40分ぐらいの交代しながら2人で行ってやるとか。それを楽しみに来られる方もいらっしゃるの。

〔川野さん〕 僕らが自主開催でやるときに、今平均100人は超えだしました。最高動員数が多分350人くらい。この数年で地道にやってくる中で、延岡男星保育士団ってこういうことやるよって認知されたみたいで、割とお客さんも入ってきてくれるようになっています。

普段お仕事をして、その合間に練習など、その原動力はなんですか。

〔川野さん〕 「楽しい」じゃないですかね。立ち上げメンバーが

今30代中盤から40代になってきたのでみんな子どもができてきてなかなか。だからね、なんか微妙な時期があったんですけど。子どももだんだん大きくなって手も離れてきて、でも調整が難しくはなっているんですけど、やっぱりみんな参加すると楽しいっていうからやれてるっていうところはありますね。

男星保育士団と別に、保育士として働かれていて、周囲の反応はありますか。

〔藤原さん〕

最初は不安だったり、一生懸命やってるけど意にそぐわないこともあったり、うまく伝わらないこと、「男性だから」みたいな感じで見られてるのもあったし、信頼をもらうのがなかなか難しかったんです。けど、自分が何で保育士をやりたいかっていう初心に返って、いやそれでもやりたいって続けてたら信頼をもらえたり、自分の一生懸命さが伝わってうまくコミュニケーションもとれるようになって、子どもがそれに反応してくれるし、現場の先生たちもそれに従ってくれるからこそ続けられたっていう。その中で、自分たちも本業続けながらこっちもやりたいって思うけど、メンタルと時間とかのバランスが難しくて新しい子が続けるのが難しいというのが経験を積んで感じたことかな。

〔川野さん〕 結局いつまでたってもマイノリティなんですよ。だからこの間の国勢調査で全体の保育所の3%が脱落してる。でも女性トラックドライバーでも10何%いるんですよ。それで何か僕らのこの団体のきっかけっていうのが自己研鑽も感じているんですよ。藤原さんが言うように、園でちょっと自分を発揮することができない、そういう人たちが経験のある先生方に「これをしたいんですけど」って言っても「うちではそれはで



きない」って言われて。今20代のメンバーも何人か入ってくれてるんですけど、僕は君たちが園でできないことをチャレンジしてみたってすごく言ってます。パネルシアターや楽曲をみんなで練習してものにして、ステージで定着させるじゃないですか。それを園の誕生会とか運動会でやったりして、何かここで自信つけて園でのやる気につながってくれたらいいなって。それはうまくいっているような気はしています。

男性保育士が入ったことで何かPRするところってありますか。

〔川野さん〕 結局僕が思うのは、信頼を獲得していったというのは、多分おんなじ土台に乗るまでが僕は厳しいのかなって思うから、すごく頑張らなきゃいけないパターンが多かったりして。だから、女性だから男性だからじゃなくて、子どもに接する一人の人間として子どもたちにしっかり向きあって、保護者にもしっかり向きあって、保育士川野幸伸として信頼のおける一人の人間として見てもらえたらいいのかな、とすごく感じますね。



ご自身の育児参加は？

〔川野さん〕 イベントの練習をするときにいつも子どもを夜一緒に連れてきてましたね。それと、食事のとき、うちはどっちも作るんで、母親が作ったときは、『母ちゃんありがとう』って、父親が作ったら『父ちゃんありがとう』って言って食べ始めますね。何でもするよね。僕はやれて当たり前でやっちゃうじゃないですか。でも一般のお父さんたちが一体何をしてなくて、お母さんが何をして欲しいのかが、僕らがとらえきれてない部分はあるかもしれないですね。それがわかれば伝えるすべがあるかもしれないと思いますね。

保育園でどういうことを意識してジェンダー教育をしていますか。

〔川野さん〕 園で掲げてるところもあるかもしれないですけど、お互いに気をつけていることを言った方がいいかもね。「赤は女の子だね」って言ったりする子がいるじゃないですか。だから子どもたちが男とか女とかっていうのを意識しないような声かけとかしますね。だけど、性別的に分けなきゃいけない部分もあるんで、ちょっと難しさもあります。そこは性教育になってきて、大事なことだと思っているので、生物学的に男女っていうところと、気にしなくていいところの男女ってところを、僕は2歳とかから伝えていけたら、わかるかどうかは別として伝え続けるっていうのは大事かなって思ってます。

〔藤原さん〕 僕も川野さんと一緒に、やっぱりそういう男とか女とか言葉に出さないようには自然になってる。何か制作をする場合も「ピンクがいい人？」って言って手を挙げさせて好き



な色を選んでそれを続けてたら自然にそんなことを言わなくなる。でもプールの時期は、着替える所はやっぱり年少からも分かれているので、体は全部大事だから隠すとか、みんなで守るとか、大事にしようとか。そういうふうにお互いの体を大切にしようとか、お友達はみんな大切っていうのを教えていく中でっていうところですかね。

〔川野さん〕 あと、僕思うのが、今ジェンダーレスとか男女共同参画はもちろん大事だと思いますけど、何か昔ながらの女の子らしい格好をすること自体に否定感が生まれているような、それはちょっと違うような気がするんですよ。昔ながらのわんぱくな男の子像もあってしかるべきだと思うんですよ。それこそ多様性だと思うんですけど。僕は仕事の時にすべてを認められる人間でありたいなと思っていますね。

保育士としても男星保育士団としてもこれからはどんなふうに関わり展開していきたいですか。

〔川野さん〕 男星保育士団に関しては、この10年、11年目で、やっぱり続けることの難しさをすごく感じています。楽しいのは楽しいんですけど、ちょっと疲弊してくる部分もありつつ、コロナでできなくなったりして、3年間ぐらいは動画配信とか相談とかしてたんです。

全然こなくなったメンバーもいて、その時4、5人ぐらいで頑張ってた動かし、灯をともし続けてくれて。そこにイベントがしっかりできるようになって頑張っていこうぜって。だからしっかり続けていきたいなっていうのはありますね。

延岡男星保育士団に依頼してくれたら楽しませに行くよって。園とかでも呼んでくれたら全然行きます。

〔藤原さん〕 お互い分担して、全員が負担にならないように、無理しないような感じで、やれるメンバーでやろうということをやってます。

〔川野さん〕 こういう団体ってまだまだ全国的にも少ないので、せっかく集まったからには20年、30年で続けていけたらいいなっていうのが今の展望ですかね。続けるのがテーマだと思います。

〔藤原さん〕 自分が日向なので、延岡男星保育士団をアピールするために、去年日向のイベントにできるだけ参加しました。そして成果を上げながら認知度をあげて、支部がだんだん広がっていけると、また男性保育士の輪が広がってくるかと思っています。

出演お問い合わせは
Instagramにて ↓





井上直子さん

深見紀葉さん

ジョイニングミュージック うたごえ喫茶 Songs (ソングス)

2024年5月15日に旭町に大人の居場所「うたごえ喫茶 Songs」がオープン！
主催する音楽ユニット「ジョイニングミュージック」の井上直子さんと深見紀葉さんにお話を伺いました。

天 光っちゃん

ジョイニング・ミュージックについて

深見：ジョイニング・ミュージックは、2018年の秋、私と井上さんとで結成した音楽療法士のユニットです。

井上：音楽療法士を目指したきっかけは、私の父の死でした。当時はまだ音楽療法と出会っていなかったのですが、音楽が好きだった父の終末期に、音楽で何も出来なかった、という思いから、音楽療法の勉強を始めました。

深見：私も、ほぼ同時期に勉強を始めました。資格取得に不足していた単位は、宮崎女子短期大学の科目等履修で補いました。

井上：5年間の臨床経験を積むのに、結構苦労しました。高齢者施設、ALS患者さんへの訪問音楽療法、私の思いとして外せない緩和ケアの音楽療法…

そして日本音楽療法学会認定音楽療法士を取得…まだ有資格者は少ないです。

深見：仕事では音楽療法を実践しているのに、両親には何もしていないと思い、近所の方を交えて、自宅で音楽療法にトライしました。そうこうしているうちに、井上さんが「これからは（介護）予防じゃない？」って。

井上：「オーラルフレイル」という口腔機能の衰えを勉強するうちに、歌うことが口腔機能維持に繋がると知って「うたごえ広場」を始めました。

延岡市駅前複合施設のエンクロスが出来た6年前にスタートして、現在も月に2回行っています。

深見：エンクロス以外（公民館や老人センター、シルバー人材センターなど）でも「うたごえ広場」を実施する内に、出かけるだけ

でなく、自分達だけの場所「うたごえ喫茶」が欲しくなりました。

井上：探した結果、旭町の日吉陶器あとを借りることが出来ました。

音楽に理解のある大家さんで、本当にありがたいと思っています。

うたごえ喫茶Songsのこだわり

井上：改装はほとんど建築士さんにお任せしましたが、建築士さんが私たちの思いを汲んで下さり、イメージ通りの、落ち着いた明るい雰囲気のお店が出来ました。

運営は自分たちでバタバタやっています。

深見：お客さんが趣味の楽器を持って来て、ギター、フルート、ハーモニカ…を演奏してくれます。皆さんに助けられています。

井上：音楽を楽しむ空間…自由度が高いです。

ジョイニング・ミュージックのレパートリー

深見：レパートリーは童謡・唱歌・歌謡曲・フォークソング・世界の歌など、色々なジャンルです。曲数にすると1000曲くらい。リクエストにお応えしているうちに、だんだん、増えてきました。

歌詞はパワーポイントで壁に映します。

井上：先週は、延岡市歌の歌詞も作りました。校歌も歌います。皆で歌うって、人同士のまとまりを作る役割もあるんですね。

オープンしての感想

井上：私達は、楽しくやっています。今日のお菓子は何にする？何を着ようか？とか…皆さんに楽しい気持ちが伝わるといいなあ！

深見：今は女性が多いのですが、男性が来

て下さると、歌声に響きが増し、とても美しい混声になります。男性もお気軽に、おひとりでも来ていただきたいです。

これからの展望は

井上：ここを充実させたい！

中高年の方々がソングスで楽しく歌って、元気に過ごしてもらいたいです。

深見：水・木・金曜日（営業日）以外にも、うたごえのイベントを行っています。

井上：クリスマス会！

深見：うたごえバスとか…

井上：もう自由！楽しい企画を思いつくまま。

深見：ここは貸ホールとしても使っていただけます。

井上：音楽以外にも、講演会、展示会や発表会にも、ぜひ。

井上・深見：詳細はお尋ね下さい。



同席頂いた大家の日吉さん

日吉：シャッター街が何とかならないか、と思っていたんですが…

ここが出来たおかげで、旭町が元気になった。若い人もここを使って下さって。

井上・深見：まちづくりなんて全然考えていなかったんですが…

大家さん、町内の方に助けてもらっています。ありがとうございます。



うたごえ喫茶 Songs (ソングス)

皆様のご来店をお待ちしています

♪カラオケやコーラスは苦手という方も大歓迎！

♪リクエストを中心に、童謡・唱歌・外国曲・フォークソング・歌謡曲・クラシック曲などを皆で歌いましょう！

♪うたごえチャージ 1,200円（税込、お飲み物&お菓子付）

ゆっくりお茶を飲みながら
ピアノの生伴奏で歌いませんか？

◆営業日 毎週水・木・金曜日（5週目は休み）

◆開店 9:30

◆午前のうたごえ 10:00～11:30

◆午後のうたごえ 13:30～15:00

◆閉店 16:00

（ご予約・お問い合わせ）音楽療法士事務所

ジョイニング・ミュージック

☎090-4357-3485（深見）

☎090-3665-9186（井上）

下 より人

社会福祉法人 愛育福祉会
延岡市北部地域基幹
相談支援センター

センター長（相談支援専門員）

廣池 加代子さん

（医療的ケア児等コーディネーター）



廣池さんのなさっている相談支援専門員というお仕事について教えてください

延岡市から委託を受けて令和3年の3月にスタートした基幹相談支援センターに所属しています。基本的には障がいのある方、成長発達が気になるお子さんがいたときに、様々な困り感をお聞きし、適切なサポート機関につなぐことが主な役割です。相談センターを立ち上げる時に、抵抗なく相談に来られるように、あえて「障がい」を使いませんでした。ここに来ればどなたでも相談ができることを伝えたくて。進学就職のこと。働いてるけど何かつまずきがあるとか、夜間徘徊、生活困窮、家庭内の困り事、福祉制度のこととか。なんでも相談です。

延岡市の保健師と連携して保育園幼稚園を訪問し、園児の発達支援について一緒に考えます。また、できるだけ全ての学校に入り、先生方に何かあったらいつでも言ってくださいと伝えています。先生方はなかなか家庭の中に踏み込んで行きづらいけど、福祉職は介入できるので、学校と家庭とのパイプ作りがわたしの役割かなと思っています。毎朝の登校支援もしてきました。教育と福祉は繋がれるのです。

ヤングケアラーについての相談もあるそうですね

昨年11月に、延岡市から法人の方で業務委託を受け「ヤングケアラー相談あいいく」

を開設し、私も関係機関として関わらせていただいています。高齢者や障がいのあるきょうだい児、中途障がいとなった親を介護することを子どもが手伝わざるを得ない状況になっているんです。

介護サービスは受けていてもその隙間があるので家族が担うということになります。

昔は美談になっていたような話ですが、では、ケアしている子どもさんの気持ちを聞いたことがあるかといったら、聞いたことないんです。思春期の娘さんがお父さんのオムツを替えているとか、想像できますか？

最近はいろんな所でヤングケアラーの話をさせていただいています。

「本当は塾に行きたいのに。」「ダンスの稽古がしたいのに。」という心の声を持ちつつも、その時間を奪っていると言つと、ハツしたり、背筋が伸びたというケアマネさんや民生委員さんもおられました。

ただ、子どもたちや当該家庭からの相談は1件もないんですよ。周りの方の気づきから相談されます。子どもたちからSNSなどを使って発信できるというのと打開策を探っています。

能登半島の地震の被災地支援にもいかれたそうですね

はい、被災地支援に行きました。そこでの経験から、延岡のシステムをちゃんと作らないと！と思いました。私たちは相談員として誰1人取りこぼさないのがモットーなので、被災したときにも取り残さない避難という

ころもしていかないといけない。

バイタリティーの源は？

困っているのを放っておけない。力不足できないときもありますよ。「ごめんね。でもこういう人がいるから紹介する」という形でつなぐことができれば、ちょっと安心してもらえるのかなって。実家の母が人に対してそこまでというくらい気を遣う人だったので。私も似ているかなと思うところがあります。おせっかいおばちゃんがいてもいいんだなって。

私はもうこの仕事が終わったら、いつ、どうなってもいいって思うぐらい、充実していたと言えると思います。私は動くことしかできない。私は考えたり書類を作ったりするより動いた方がいいタイプなのでそれだけです。

だから動いたことしか話せない。大したことじゃないです。延岡に相談できる場所があるということをもっと広く知っていただけたらと思っています。



ヤングケアラー 相談あいいく

「ヤングケアラー 相談あいいく」は、あなたの相談に寄り添います。あなたのことを全て話す必要はありません。何か嬉しいことがあった、悲しいことがあった、そんな他愛ない話ができる場所として相談あいいくを利用して欲しいのです。

住所 〒882-0024 宮崎県延岡市大武町5334番地
電話 0982-26-5715（月～金 8時30分～17時15分）
ファックス 0982-26-5715 メール sos@cicock.ocn.ne.jp

保育士・幼稚園教諭・教諭の資格を持った相談員がいます。
その他関係機関には、様々な職種の職員もいます。

その他のヤングケアラーに関する相談窓口

延岡市 こども家庭サポートセンター

住所 宮崎県延岡市東本小路2-1 延岡市役所2階 保健センター
電話 0982-20-7250（月～金 8時30分～17時15分）

宮崎県子ども・若者総合相談センター「わかば」

住所 宮崎県宮崎市宮田町13番16号 宮崎県庁 10号館1階
相談ダイヤル 0985-41-7830 メール soudan@miyazaki-kowaka.jp
子ども相談専用ダイヤル 0120-730-130 相談受付日時 月・火・水・金・土 10時～17時
（木・祝日・年末年始休み）



配偶者や交際相手からの暴力DVに 悩んでいませんか？

～配偶者暴力防止法(DV防止法)が改正され、保護命令制度が新しくなりました～

DVの種類

DVとは、配偶者や交際相手などからふるわれる暴力のことで、「なぐる」「ける」といった**身体的暴力**だけでなく、「大声でどなる」などの**精神的DV**、「生活費を渡さない」などの**経済的DV**、「外出を制限する」などの**社会的DV**、「性的行為を強要する」などの**性的DV**があります。

保護命令制度とは

地方裁判所が、更なる暴力を防ぐために、被害者の申し立てにより、相手配偶者等に対し、身辺へのつきまといなど、一定の行為を禁止する命令を発令する制度です。

令和6年4月1日からは、通院を要するほどの重篤な精神的被害を受けた場合にも対象が拡大しました。

改正のポイント(令和6年4月1日より)

○被害者への接近禁止命令等について、発令の対象を拡大

通院を要するほどの重篤な精神的被害を受けた場合にも保護命令の対象が拡大。

○接近禁止命令等の期間を延長

6ヶ月 ⇒ 1年間

○子への電話等禁止命令の創設

○保護命令違反の厳罰化

1年以下の懲役／100万円以下の罰金 ⇒ 2年以下の懲役／200万円以下の罰金

内閣府ホームページ



詳しくはこちら ⇒

相談窓口について

☎電話で相談

■ DV相談ナビ
は れ れ ば
8 0 0 8
■ 警察相談専用電話
9 1 1 0

💬チャットで相談



DV相談プラス

♡他の相談窓口



相談窓口一覧

DVは人権を著しく侵害するもので、決して許されるものではありません。

ひとりで悩まず、
ご相談ください。

男女共同参画推進室でも相談を受け付けています。

TEL 0982-22-7056

小泉副市長を招き「行政と語る会」

のべおか男女共同参画会議 21



のべおか男女共同参画会議 21 では、自分たちが暮らす町の現状を知るために、「行政と語る会」を年1回開いています。今年も8月21日、講師には昨年と同じく小泉智明副市長をお招きして行いました。

演題は「暮（くら）して1年 延岡市とは…」とし、副市長に着任したばかりだった前回から1年経った感想も伺いました。「豊かな自然、おいしい食材、歴史があり、

工都でもあって、多様性のある、適度な規模の町。特に川が美しい」という、うれしい言葉を頂きました。

その後、女性活躍・男女共同参画の推進のため、国や延岡市が取り組んでいる施策について説明がありました。正規雇用率の男女差が大きいことに触れて「非正規雇用など多様な働き方を自ら選ぶことは良いが、女性が正規雇用される芽が摘まれているのであれば、政府が是正に取り組まなければならない」と話されました。延岡市の公式YouTubeチャンネルで「延岡の光つちよる女性（ひと）」を発信していることも紹介されました。男性が多い分野で活動したり、民間企業の管理職を目指したりする女性たちの励みになる内容だと感じました。

講演後に、参加者から国・県・市議会や各種審議会にクォーター制（一定の比率で、女性議員・委員の人数を割り当てる制度）を導入することについての考えを問われた小泉副市長は「議会への制度導入は慎重にすべきと思う」と答えました。市の審議会には、当会からも参加させてもらっており、意見が言える状況です。土井裕子会長は「地域をより良くするため、まず区長になりましょう」と会員に呼び掛けました。

稲垣えみ子さん 講演会

人生をハッピーに生き切る！

延岡市人権推進課では、地域人権啓発活動活性化事業を活用して、元朝日新聞記者の稲垣えみ子さんを講師にお招きし、「人生をハッピーに生き切る！」と題して、ご講演をいただきました。



稲垣さんは、電気やガスにできるだけ頼らない生活を送りながら、食事や風呂、本棚などを、街中の一部で賄い、街を含めて

自宅のひとつとして考えることで、人とつながり、近所付き合いを楽しみながら、自分らしい生き方を追求していらっしゃる。

時々笑いを交えながら、独特の語り口で話す稲垣さんのお話に来場者の方々も聞き入っていました。



■ 職歴・経歴

1965年 愛知県出身。

一橋大学社会学部卒業。1987年 朝日新聞に入社。

高松、京都支局を経て大阪本社社会部、週刊朝日編集部などを経て論説委員、編集委員。

東日本大震災後に始めた超節電生活を綴ったアフロヘアの写真入りコラムが、奇抜なヘアスタイルも相まって大反響。「報道ステーション」「情熱大陸」などのテレビ番組に相次ぎ出演する。

2016年、50歳で朝日新聞を退社、夫なし、子なし、冷蔵庫なしの「ハッピーに閉じていく人生」を模索中。

■ 著書

「シン・ファイヤー」「家事か地獄か」「老後とピアノ」「一人飲みで生きていく」「人生はどこでもドア」「アフロえみ子の四季の食卓」「もうレシビ本はいらない」「寂しい生活」「魂の退社」「アフロ記者」など多数

読んでみませんか？

2024年度前期のNHK連続テレビ小説で大ヒットとなった「虎に翼」で、その主人公のモデルになった日本初の女性弁護士、三淵嘉子さんについて書いた本を紹介します。

① 三淵嘉子の人生

松本 晋平・田川 志乃・高橋 美穂 共著

② 三淵嘉子～日本初の女性弁護士～ 長尾 剛 著

③ 三淵嘉子と家庭裁判所

清水 聡 著

1914年(大正3年)生まれの嘉子が難関の女学校へ進学した時代は、良縁に恵まれるための良妻賢母教育が中心でした。しかし、諸外国で暮らした経験があり、開けた視野を持っていた父の勧めで嘉子は結婚ではなく明治大学専門部女子部法科へ進学するのです。そこから嘉子の女性法曹パイオニアとしての人生が始まります。

戦後、我が国の最高法規である日本国憲法に男女平等が謳(うた)われても尚、男尊女卑がはびこる社会で、嘉子は裁判



官になり、女性初の家庭裁判所所長にも就任。女性が社会的に活躍できる道を切り開きます。そして定年退官後も男女平等問題専門家会議の座長を務め男女雇用機会均等法案を審議するなど、女性の権利や地位向上のために力を尽くしました。ただし、嘉子のスタンスは「か弱き女性のため」というわけではなく常に「か弱き人間のため」であったといえます。その背景には嘉子自身が受けた男女差別のみならず、関東大震災や、敗戦、家族の死、たくさんの辛い経験があるのです。その物語を、日本の法曹界や婦人運動の歴史にも触れつつまとめたこれらの本で知ることが、すべての人が平等に生きられる社会について今一度考えるきっかけになればと思います。

響さん紹介

タイトル

「響」について

『響』には、「声・音が伝わる。」「声・音が跳ね返ってくる。」「広く知れ渡る。」「影響を与える。」「心に感じさせる。」等の意がある。この『響』が、あなたの心に響き、影響を与え、あなたからの情報が「打てば響く」ように跳ね返ってきてほしい。「あなたと響き合いたい」との気持ちでいっぱいです。

題字「響」

財前 洋子 さん

延岡地区保護司会 更生保護女性会
幼老交流「ととろ食堂」
おもちゃ病院のべおか
ボランティア活動にも参加中♪



喧騒の街に響き渡る城山の鐘。慌ただしい日常に一瞬の静寂。耳をすませて聞き入れば、なんだか心地良い。それを文字で表現してみました。

写真歴27年、書道歴10年、近年は創作書道が楽しくて宮崎市まで通っています。

趣味で撮りためた写真と、創作書の融合作品を延岡市美展に毎年出展。写真も書道も楽しむ写楽書を友人と結成し活動中です。

写真

「延岡名花 ヤブツバキ」

児玉 美智子 さん



昭和20年横浜生まれ、戦後宮崎へ。学生時代から、カメラに興味があり、子供の成長記録として、撮影していた。その後、花や夜空、日の出など自然にも興味を持ち、カメラ持参の日常だったが、現在病氣療養中。

何気に撮影してきた四季折々の写真を、社会的に活躍中の方々の情報誌に採用していただけて、この上なく幸せです！

療養中の今、とても励みになりました。今後も皆様の更なるご活躍を祈願しております。

◆ 延岡市男女共同参画センター

配偶者等からの暴力・男女共同参画等に関する相談

☎ 0982-22-7056

◆ 延岡市消費生活センター

借金・消費生活に関する相談

消費生活に関する無料弁護士相談[要予約]

☎ 0982-26-0111

延岡市男女共同参画推進室

延岡市桜小路 360-2 (川中コミセン 2F)

月～金 8:30～17:15 (祝日・年末年始は休み)



悩んでいるのは

あなたひとりではありません。

勇気を出して

一歩踏み出してみませんか？

相談は無料。秘密は守ります。

お気軽にご相談ください。

編集後記

この「響」の編集委員の醍醐味は、何といっても、市内在住のとびきりキラキラ光っておられる方と出逢えることです。いろんな媒体でお顔やお名前は存じ上げていますがお会いしたことのない方、あるいは全く存じ上げなかった方、皆さん何かひとつ事に熱中しておられて熱く眩しく思います。今年も素敵なお方々とお会いできて、貴重なお話を直接聴き、たくさんの元気を頂きました。これらの記事を通して、そのおすそ分けが少しでもできたなら幸いに思います。(ひ)

編集委員／ともみ I、ひろみ H、ゆみ K、ゆみ Y、たかき N